

色の好みと性格の関連性

大森拓哉ゼミ

21011345

森沙織

目的は、色の好みによって性格に差があるか調査すること。

調査方法は、**bigfive** という性格診断を使って多摩大生18人にアンケートを実施した。

仮説は色の好みによって性格に差が出ると考える。

緑色、茶色、紫色について差があるかアンケートをもとに分析した。

また優位水準は10%に設定した。

緑色について外向性、情緒不安定性、開放性、誠実性、調和性においては差がでなかったが、開放性においては $P=0.066331$ であったため差があるといえる。

茶色について外向性、情緒不安定性、開放性、調和性においては差が出なかったが、誠実性においては $P=0.096488$ であったため差があるといえる。

紫色について外向性、開放性、誠実性、調和性においては差が出なかったが、情緒不安定性においては $P=0.069939$ であったため差があるといえる。

今後の課題については、もっと多くの人にアンケートを実施し、他

の色でも試してみる。